

大項目	視点	取組	アクション	打ち手
1. 観光消費が促進される高品質な観光地づくり <国際水準の、唯一性の高い観光地形成を目指す>	<A: 分析視点> 箱根の実態を正しく把握し生かす観光マーケティング ◆PDCAサイクルを実現するための適切な機能の構築	(1) 調査機能の充実	【施策1(A)-1-1】 定点調査の精度向上	①観光入込調査の精度向上 ②顧客満足度・消費動向を常態的に把握できる調査の実施
			【施策1(A)-1-2】 箱根の観光地としてのポジショニング把握	①潜在見込み客へのWEB調査の実施 ②競合観光地・他消費分野の調査
		(2) 分析結果の共有機能の構築	【施策1(A)-2-1】 分析ツールの実装	①「箱根観光診断書」の実装
			【施策1(A)-2-2】 観光マーケティングの普及	①事業者・住民を対象とした観光マーケティング勉強会の実施
	<B: プロダクト視点> 観光消費が促進される商品づくり ◆滞在時間の延長ならびに旅行前目的増に繋がる商品の磨き上げ	(1) 「温泉」「宿泊」ニーズを核としたコンテンツの充実	【施策1(B)-1-1】 「温泉」目的の継続強化と宿泊需要の平準化	①箱根十七湯ブランドを活かした訴求力の向上 ②宿泊需要(利用時期)の平準化促進
			【施策1(B)-1-2】 ポスト「温泉」「宿泊」目的の掘り起こし	①市場ニーズに沿った第三、第四の目的の創出と訴求 ②目的・テーマ別イメージ訴求手法の検討と強化
		(2) 域内滞在時間延長と周遊エリアの拡大	【施策1(B)-2-1】 時間帯別施策実施による滞在時間の延長	①ナイトタイム、モーニングタイムエコノミー施策の検討 ②1泊より2泊、1時間より2時間と滞在時間の延長を促す施策の検討
			【施策1(B)-2-2】 現地体験コンテンツの拡充	①体験型コンテンツの予約販売チャネルの確立 ②モデルコンテンツ・コースの販売
	<C: プロモーション視点> 継続的な観光消費を獲得するための効果的プロモーション ◆「箱根観光戦略」に基づくプロモーション戦略	(1) 首都圏再奪取プロモーション(国内客)	【施策1(C)-1-1】 メディアや旅行博等におけるプロモーション強化	①首都圏客を対象とした効果的な媒体選定とセールス実施 ②旅行博、観光展等の対人イベントへの効果的出展 ③マスメディアリレーションの強化
			【施策1(C)-1-2】 ICTを活用した訴求の強化	①箱根全山サイト、facebook等のSNSを活用したプロモーションの実施 ②ICTを活用したプッシュ型プロモーションの検討、実施
		(2) WITH TOKYOプロモーション(訪日客)	【施策1(C)-2-1】 情報タッチポイントを増やすための施策実施	①箱根全山英語サイ「HAKONE-JAPAN」、facebook等のSNSを活用したプロモーションの実施 ②東京の観光案内所およびホテルコンシェルジュへの箱根観光情報提供・普及 ③海外向け情報発信チャネル、フローの構築
			【施策1(C)-2-2】 セールス強化とファミツアーの実施	①旅行会社・ランドオペレーターを対象としたセールス及びファミツアーの実施 ②インフルエンサーファミツアーの実施
		(3) 未来志向の新規開拓型セールス・マーケティングの実施	【施策1(C)-3-1】 新規開拓地域のマーケティング	①海外における旅行購買分析と効果的なセールス手法検討
			【施策1(D)-1-1】 キャッシュレス環境の整備促進	①事業者へのキャッシュレスシステム導入促進説明会の実施 ②キャッシュレス事業者とパートナーシップ制度の創設
	<D: 受け入れ視点> 国内外から高く評価される高品質なソフトインフラの整備 ◆誰もが不便なく、快適に観光できる環境の整備	(1) 国際水準の観光受入体制構築	【施策1(D)-1-2】 多言語化の推進	①公共観光看板・交通サインの多言語化 ②ウェブサイト/観光マップ/パンフレット等の多言語化促進 ③観光事業者の多言語化推進支援 ④アクセス・PR動画の制作と活用
			【施策1(D)-1-3】 ユニバーサルツーリズムの推進	①高齢者、乳幼児連れの観光客が安心して過ごせるサービス、店舗、移動手段などの情報の集約および発信 ②車椅子、言語サポートなど観光従事者向け学習機会の提供
			【施策1(D)-1-4】 通信環境の整備	①多様な通信環境への対応
			【施策1(D)-2-1】 渋滞に関する分析と対策	①恒常的な渋滞箇所、時間の調査・分析 ②交通事業者を含めた課題解消方策についての検討、調整チームの創設 ③パーク&ライド施策の検討、実施
		(2) 周遊に関する課題・障壁の解消	【施策1(D)-2-2】 ICT・IOT技術を活用した周遊利便性の向上	①周遊環境向上に向けたICT周知施策の実施 ②近未来観光地運営の実証実験

大項目	視点	取組	アクション	打ち手
2. 観光産業の持続的発展に向けた確かな基盤づくり ＜観光市場や社会環境の変化に適合し、継続的に観光が発展する体制をつくる＞	-	(1) 観光地の価値の適切な保全と、魅力向上の両立	【施策2-1-1】街並みや自然景観の維持向上に向けた取り組みの推進	①景観保全における広告物の指針の周知 ②風景形成のための緑化及び伐採の検討・推進 ③都市計画マスタープランに位置付けた地域別構想に向けた推進
		(2) 災害時の観光客の安全確保体制の構築と、観光産業の早期復興体制の構築	【施策2-1-2】文化観光施設の受け入れ環境強化	①文化施設が連携した誘客施策の推進
		(3) 戦略的かつ迅速に施策実行に移すことができる体制の構築	【施策2-2-1】地震・噴火時の事業者用マニュアル・行動指針の策定	①宿泊施設、商店、飲食店用のモデルマニュアルの整備 ②地震、噴火時の観光関連施設における対応力向上セミナー、ワークショップ等の実施
3. 環境先進観光地としてのブランディング強化 ＜豊かな自然環境を次世代に継承するとともに、観光に活かす取組を推進する＞	-	(1) 自然環境の保全・改善と、持続的な利活用の推進	【施策2-3-1】観光推進に係る業務分掌の明確化と実行	①箱根町・箱根町観光協会との効果的な業務分掌の検討と実行 ②施策推進のための財政上の措置
			【施策4-1-1】国立公園の観光活用に向けた具体的取組の推進	①国立公園ナショナルパーク構想に向けた活用・環境整備に係る検討の開始 ②箱根ジオパークの観光活用推進 ③低炭素型観光地づくりの推進 ④廃プラスチック削減に向けた具体施策の推進
4. 来訪者と地域の人々の交流が価値を高める観光地づくり ＜町民や観光関連産業従事者、町内での就労者・就学者が多様な形で活躍できる開かれた産業構造を目指す＞	-	(1) 観光産業に携わる組織・事業者間の合意形成	【施策5-1-1】関係諸団体との情報共有、連携	①商工会議所、旅館組合とのタイムリーな情報連携の推進 ②地域観光協会との連携・観光協会長サミットの継続的实施
		(2) 観光産業への町民の理解促進と参画機会の拡充	【施策5-2-1】「箱根を知る」ための地域教育（観光学習）の推進	①町立小・中学校における「観光学習」の推進 ②生涯学習を通じた町民理解の醸成 ③住民の観光に対する意識調査の実施
		(3) 働きやすい環境づくりを通じた、観光産業従事者の雇用継続・拡大	【施策5-2-2】教育機関との実践的な連携の推進	①大学等との共同調査・分析・研究機会の拡充
			【施策5-3-1】観光関連産業の労働環境改善を通じた魅力向上	①観光産業の働き方改革の推進
			【施策5-3-2】観光関連産業における雇用の促進	①県内の高校生・専門学校生・大学生の就職支援 ②外国人人材雇用に向けた支援

